

## 児童発達支援評価表

回答 24

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容、又は改善目標
環境 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	3	少し手狭さを感じる部分もあるが、過ごす部屋を時間差で分けるなど工夫している ノートを使って部屋の利用の管理をしているが、面談やクールダウン等で、個別対応する必要がある場合が多いので、相談室がもう少し必要。 トイレが狭く、肢体不自由児にとって使いにくい。 車椅子やバギーを置いたり保管するスペースが無い。 年齢ではなく、集団になれるようにクラス体制を考えている	・地域からの相談が増加傾向にあり、部屋の空き状況が少なくなっていますが、使用状況を把握し、協力しあいながら使用していきます。 ・トイレの状況においては予算を伴う課題であります。現場で直接使用している職員の方にも御協力をいただき、共に考えていきたいと考えております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	24	0	保育室、訓練室、相談室にマークをつけることで、子どもたちにも解りやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24	0	計画的に、エアコン掃除、窓掃除を職員でしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	2	予測される混乱がある場合、相談活動の部屋を使用する話し合いをしている 来所相談等でも使用するので、もう少し増えるとよい。	地域からの相談が増加傾向にあり、部屋の空き状況が少なくなっていますが、使用状況を把握し、協力しあいながら使用していきます。
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	0	全体職員会議を定期的に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	16		

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	24	0	毎月さまざまな職場内研修機会を設けてくれたり、外部研修の案内をしてくれている内部研修がある。 外部の研修を受けた職員が、全体に伝えてくれることもある。 外部講師の研修をセンターで受ける機会がほしい。	限られた予算ではありませんので、外部研修を受けた職員の伝達講習を引き続き継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24	0	1ヶ月分の支援内容の計画、日々の療育の予定を全体で共有している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	24	0	ニーズ表を保護者に提出してもらい、担任、児発管で検討して支援計画を作成している。 職員会議を通じて、支援計画の大切さを学び、全体共有をして作成にあっている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	24	0	担任、児発管でケース検討する会議を持っている。セラピスト職員とも共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	4		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	0	季節の行事、遊び、活動を積極的に取り入れている。 クラス会議を行い、活動内容を考えている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24	0	職員の朝の会で、全体の活動をお互いが把握している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24	0	担任で情報共有するよう努めている。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	24	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	0	全体保育園交流に行ったり、5歳児交流、個別交流の機会を作っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	20	4		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20	4		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	20	4		
31	(31は、事業所のみ回答)	17	7			
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	24	0	全体保育園交流に行ったり、5歳児交流、個別交流の機会を作っている。		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	24	0	母子登所の日に、コミュニケーションをとっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	2	保護者が外部の研修に参加することは、なかなか難しいので、センターの中で研修を受けることが出来ることが望ましい。	保護者に対する心理や言語の学習会は行っているため、今後も引き続き継続していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24	0	困り事が発生した場合、担任も対応するが、リアルタイムで対応できるようにすぐ児発管につなげ随時面談の機会を設けている 必要な時に面談の時間が持てるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	21	3	きょうだいの交流をもう少し増やせると良い。 きょうだい児が交流する場は少ないが、夏まつりできょうだい児コーナーを設けたり、運動会できょうだい児が参加できるようにしている	引続き、行事の時に、きょうだいの参加や交流を工夫し行っていけるよう、検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21	3	園だよりの発行はしているが、SNSの利用はない。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	18		
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	0		

時 等 の 対 応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	24	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	1		